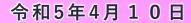


東京都立東村山高等学校

^{令和5年度} 校長室だより 第1号

他者(ひと)のために 一歩先の自分へ



〒189-0011 東村山市恩多町4-26-1 TEL 042-392-1235 FAX 042-392-7275



令和5年度を迎えて

校長 富川 麗子

東京都立東村山高等学校に校長として着任して2年目を迎えました。 今年2月にグラウンドも完成し、教育 施設が一新しました。 進学応援型エンカレッジスクールとして14年目を迎える本校ですが、 更に学校を成長さ

せていこうと、教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。 さて、4月7日(金)、晴れやかに,入学式を挙行いたしました。御多用の中御臨席くださいました御来賓の皆 様をはじめ、本校を支え、応援してくださる皆様に心より感謝申し上げ、入学式式辞の一部を紹介し、年度当 初の学校長挨拶とします。

(前略)さて、例年以上に高い倍率となった入学試験を見事に突破し、本校に入学した皆さんを私は、誇り に思っています。これまで歩んできた道はそれぞれですが、本校は、「学び直し」の機会を設けながら、一人ひ とりの目標を実現することを目指している高校です

その中で、皆さんには将来、社会で自立して生きていける力を身に付けてほしいと思います。そのために今 日から、ゆっくりとした歩みでいいので、少しずつ努力を続けていってください。努力することは格好悪いなどと いう、誤った風潮が一部にありますが、努力は恥ずかしいものではなく、大切なことです。無駄な努力などあり ません。小さな努力の積み重ねが、きっと将来、綺麗な花を咲かせるのです。

作家の村上春樹さんが、『走ることについて語るときに僕の語ること』の中で、「小説家にとって必要な資質に ついて、才能、集中力、持続力をあげています。しかも、集中力と持続力は才能とは違ってトレーニングによっ て獲得することができ、その質を向上させることができると。刺激し、持続する。刺激し、持続する。この作業に はもちろん我慢が必要である。しかし、それだけの見返りはある。」と述べています。

村上春樹さんのプロとしての強さを感ぜずにはいられません。村上春樹さんの創作を支える基盤は、地道で たゆまない積み上げによって成立しているのです。

つまり、努力は、自分の夢や目標に近づくために絶対に必要なことであり、どんなに才能があっても、努力し なければ、その才能は発揮できず、逆に、どんなに才能がなくても、努力すれば、その分だけ自分を成長させ ることができるということなのではないでしょうか。新入生の皆さん、これから本校での学校生活に懸命に取り組 んで楽しむと同時に、沢山努力をして、皆さん自身を成長させてください。私は、皆さんの成長を心から応援し ていきます。

次に、「人との関りを大切に」してください。

高等学校は、人と人との絆をつくる大切な場所でもあり、皆さんには学習や学校行事、部活動等をとおして、 人の痛みが分かり、常に相手の立場に立って物事を考え、感謝の気持ちをもって行動できる人になってもらい

人は自分一人で生きているのではなく、家族、友人、学校の先生、地域の方など周囲の人からの思いやり や励まし、応援や支えがあってよりよく生きることができるのです。自分を他者に置き換えて考えるという想像力 を働かせることはとても大切で、コミュニケーションの基本となります。新しい仲間に心を開き、関心をもち、認めるべきことは謙虚に認め、良い点を吸収しようとする姿勢をもってほしいと思います。

そして、「人との関りを大切にしていく」一つの方法として、相手に自分のことや考えを丁寧に伝えていくとい う、「伝える力」を普段から意識して、お互いに高め合って、ほしいと思います。普段からこの「伝える力」を意識 して、楽しい学校生活、思い出深い学校生活、努力する学校生活を築いてくだい。(後略)



←写真2 ←写真1

新入生宣誓

198名の新入生

→写真3 副校長・ 室長 · 担任紹介

☆HPでは学校の様子を紹介しています。併せて御覧ください。